



令和4年7月20日から7月21日にかけて峯岡山分屯基地（第4警戒隊）は、中部航空警戒管制団司令小野打空将補の部隊視察を受察した。車両到着した団司令は、隊員の出迎え後、幹部挨拶、状況報告、施設巡視、幹部懇談、准曹士懇談及び訓示と過密なスケジュールをこなされた。訓示において、「ロシアのウクライナ侵攻による国際社会の問題を受けて、国を守るためには航空自衛隊全体が進化していかねばならない。そのために指導方針として『挑め！より速く、より高く、より遠くへ』隊員一人ひとりがそれぞれのポストにおいて能力を向上させ、更なる精強化に挑むことで、進化することができる。」と述べ、最後に「野田隊長を核心として、一致団結、明るく元気に様々なことに挑み、首都圏防空の要として、この愛宕山に精強四十四警戒ここにありと、いっそう名を馳せられんことを期待する。」と激励した。その後、団司令は、隊長以下全隊員に見送られ基地を後にした。



▲隊員の出迎えを受ける
野田分屯基地司令



▲見送りを受ける
田中前分屯基地司令



【階級】2等空佐
【氏名】野田 秀志
【生年月日】昭和45年2月
【期別】防大36期
【出身地】石川県
【家族構成】妻、子供3人

中部航空警戒管制団司令 小野打空将補 部隊視察

第4警戒隊長兼ねて 峯岡山分屯基地司令に 野田2佐着任

嶺 岡 山

第182号

発行所 嶺岡山編集委員会
発行人 大塚 英和
印刷所 印刷所
鴨川印刷



令和4年4月18日第4警戒隊長兼ねて峯岡山分屯基地司令 野田秀志2佐の着任行事が実施された（写真）。着任式の際、『明るく、前向きに、自分の価値を信じ、謙虚に』を要望事項とし、隊員一人ひとりの個性を認め、それぞれにあったきめ細やかな指導を行う必要があると思っています。その上で、少しでも多くの人に楽しく、前向きに、それぞれの価値を見出し、やりがいのある仕事をししてほしい。そして、成果をあげ、次への励みにしてほしいと思います。それが、隊員一人ひとりのためであり、ひいては部隊のためになると信ずるからです。簡単なことではありませんが、隊員を家族と思う気持ちで、礎になると思っています。（要旨）と訓示した。

今後、支部長のスローガンである「組合員ファースト」を念頭に、隊員及びその家族の福利厚生を充実させ、共済事業の発展に貢献していきます。

防衛省共済本部長表彰を受賞



結婚しました



みなさん、こんにちは。花方士長と申します。私たちは2020年12月に出会い、1年後の12月に入籍しました。新婚ですが今は青森と千葉で離れて暮らしています。夫との出会いは、廊下を歩いている彼を見かけた時でした。その時に、こんなカッコイイ人がいるのか！と思ったのと同じに私の中でビビッと！と、この先この人となにかあるなと感じました。運命の人と出会ったとき電撃が走るような感覚があるとは、よく聞きますが本当にあるものなんだと実感するとは思いませんでした（笑）



この度令和3年12月18日に結婚いたしました。私達の出会いは小学5年生の頃でした。私の第一印象は「クラスメイトになったばかりだというのに通うたびに足を踏んでくる変わった人」でした。その印象は今も変わっていません。そんな2人が結婚に至る経緯は・・・ここは省かせていただきます。詳しくは本人から聞いてください。これからの私の目標は国防を担う家族のために美味しいご飯を作り笑顔で食卓を囲む、この生活を守ることです。まだまだ未熟ではございますが結婚を機により一層研鑽を重ね、知識と技術のほめてまいります。（指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。皆様、御察しのこととは思いますがこの記事は夫である私が妻に言われて書いております。吉河士長